



自社考案の結氷防止形状 『トリプルサルコウ®』で、 防潮堤避難階段の安全性を向上。

踏板的「水溜まりと凍結」という致命的なリスクを、
独自の開発力と「意匠権（意匠登録第1657489号
および第1657571号）」でクリア。

海に囲まれた防潮堤に設置される避難階段。一分一秒を争う災害時に命を繋ぐ重要なインフラですが、寒冷地特有の「凍結」という大きな課題を抱えていました。西鋼は従来の踏板的常識を覆す新形状を自社で開発し、この厳しい安全基準をクリアしました。



西鋼のソリューション

◆ 従来の踏板的が抱えていた、 寒冷地ならではの致命的な欠陥

従来の避難階段の踏板的（ステップ）は、寒冷地で使用した際、上面にわずかな水が残ってしまうという問題がありました。厳しい寒さによってその水が凍結を起こすと、せっかく施されているはずの「滑り止め機能」が全く発揮できなくなってしまうのです。避難時の安全を脅かすこの致命的なリスクをどう排除するか。それが今回のプロジェクトにおける最大のテーマでした。

◆ 逆転の発想で生まれた、 水が溜まらない独自形状「トリプルサルコウ®」

私たちは踏板的の構造そのものを根本から見直しました。試行錯誤の末、踏板的の上面にどうしても残ってしまった水を物理的に「溜めず」に受け流す画期的な新形状を考案。この独自の結氷防止形状を「トリプルサルコウ®」と名付け、私たちはその新規性と有用性から、自社で「意匠権（デザインの特許）」を取得いたしました。

◆ 意匠権と防滑性能という確かな裏付けをもって、 安全性を提案・採用へ

単なる口頭ベースのアイデア提案ではなく、意匠権を取得した確かな技術としてお客様へご提案いたしました。また、高い安全性を確保するため防滑試験を実施し、滑り性能についても高い評価を得た結果、正式採用に至りました。過酷な自然環境にさらされるインフラだからこそ、妥協は許されません。「もしも」の瞬間に誰もが安心して使える製品を届けるために、西鋼は既存の枠にとらわれない技術開発で応え続けます。